

令和6年度 学校経営方針

青森県立森田養護学校

校長 菊地圭子

1 校訓

健康 友情 努力

2 教育目標

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を行い、将来の自立と社会参加を目指して、その基盤となる「生きる力」を育成する。

【目指す児童生徒像】

- (1) 丈夫で元気な子ども
- (2) 仲よく協力する子ども
- (3) 自分から進んで取り組み、やり遂げる子ども

3 スローガン

「太陽に向かってひまわりのように」

4 学校課題

- (1) 「考える・分かる・活用できる」の要素がある授業づくりの実践
- (2) 夢や志の実現に向けたキャリア教育の推進
- (3) 各障がい種の指導の専門性の向上
- (4) 地域に開かれ、地域に貢献し、信頼される学校づくりの推進
- (5) 地域社会における本校児童生徒に対する理解促進

5 学校経営方針

- (1) 適切な実態把握と評価に基づいた授業づくりを進める。
- (2) 児童生徒一人一人の可能性を引き出し、自己肯定感・自己効力感を高める教育活動を展開する。
- (3) 小学部から高等部までの12年間を見通した一貫性・系統性のある授業を行う。
- (4) すべての教育活動についての説明責任を果たす。
- (5) 計画的な研修や校内研究により、各障がい種や個々のニーズに応じた指導の専門性の向上を図る。
- (6) 学校運営協議会設置校（コミュニティ・スクール）として、地域の特性を活かした教育課程を工夫し、教育活動を展開する。
- (7) 西北地区におけるインクルーシブ教育システム（※）の充実を図る。
※障がいのある者と障がいのない者が可能な限り共に学ぶ仕組み（文部科学省、インクルーシブ教育システム構築事業 資料より）

6 令和6年度の重点課題

(1) 授業づくり

- ① チームで行う授業改善
- ② 学部会や学部主任会議等による小学部から高等部までの一貫性・系統性のある指導内容の整理と授業実践
- ③ 児童生徒一人一人の実態に応じたICTを効果的に活用した授業実践の推進
- ④ 地域と連携した学習活動の展開

(2) キャリア教育

- ① 児童生徒のもっている夢や志の把握とその実現に向けて必要な力の明確化
- ② 小学部、中学部、高等部が連携した各学部段階におけるキャリア教育の充実
- ③ 個別の教育支援計画、個別の指導計画、個別の移行支援計画を活用した保護者・関係機関との情報共有
- ④ 進路実現につながる外部の人材・施設等の活用

(3) 特別支援教育の専門性

- ① 学校課題の解決及び教職員一人一人のキャリアアップに係る研修機会の拡大・充実
- ② 知的障がい、肢体不自由、発達障がい等、各障がい種に関する指導の専門性の向上を目指した校内外の研修・校内研究の機会確保

(4) 信頼される学校づくり

- ① 学校評価の分析・活用による学校改善と地域への情報開示
- ② 保護者や福祉、医療、労働等の関係諸機関との密接な連携強化
- ③ 学校運営協議会を活用した地域との積極的な連携・協働の推進と教育課程の編成
- ④ 相談支援サポートセンター「ねっと！ひまわり」を通じた地域の特別な支援を必要とする児童生徒への支援
- ⑤ ホームページなどを活用した本校及び特別支援教育に関する積極的な情報発信

(5) インクルーシブ教育システム

- ① 交流及び共同学習の推進についての保護者への説明と希望への対応
- ② 児童生徒一人一人への合理的配慮の提供と基礎的環境整備の推進
- ③ 西北地区連携協議会事務局校として、地域及び関係機関への積極的な情報発信と連携強化
- ④ 西北地区の教育事務所及び各教育委員会、小・中学校との連携強化